

技術的営業秘密の法的保護に関する理論と実務 ～ 技術的な営業秘密の漏えい防止に何が必要か ～

日時
平成**27**年**3**月**13**日(金)
10時～16時10分(開場9時30分)

被害を最小限に抑えるため、現行法の枠内で企業として何ができるのか？

本研修会では、営業秘密の漏えい事例、法改正の検討を含めた審議会における議論など最近のトピックを紹介した後、予備知識のない方にも理解しやすいよう、わが国における営業秘密の法的保護の沿革から説き起こし、主要な裁判例を体系的に紹介していきます。また、営業秘密の侵害行為に対する刑事罰の規定は近年目まぐるしく改正されていますが、これについてもポイントを分かりやすく解説いたします。不正競争防止法以外の法律による技術的な営業秘密の保護、具体的には、著作権法や一般不法行為法による保護の可能性も検討し、最後に、営業秘密の物理的な管理方法も含めたヒントを提供いたします。

本研修会により、営業秘密の保護法制に関する体系的な理解が得られるとともに、「営業秘密は不正競争防止法により保護されている」というような単純な説明では実態と合っていないということが理解されると思います。是非、この機会に多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

日本弁理士会会員の皆様へ

(一財)経済産業調査会は、日本弁理士会の継続研修を行う外部機関として認定されています。この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を申請中です。この研修を修了し、所定の申請をすると、5単位が認められる予定です。

講師：牛鳴坂法律事務所 弁護士 木村 耕太郎 氏

参加料：各1名につき(資料代・消費税込)

特別会員	普通会员・ 知財会員	特許ニュース 購読者	一 般
10,000円	15,000円	18,000円	23,000円

場 所：

銀座会議室(三丁目)6階C室

東京都中央区銀座3-7-10 松屋アネックスビル
(東京メトロ銀座線・日比谷線銀座駅下車A12番出口
より徒歩約2分)

技術的営業秘密の法的保護に関する理論と実務 プログラム

1. 営業秘密の漏えい事例の紹介
2. 営業秘密の法的保護の沿革
 - (1) 主として刑事事件として保護された時代
 - (2) 不正競争防止法の平成2年改正
 - (3) 現行不正競争防止法の成立と「営業秘密」保護の3要件
(特に「秘密管理性」要件について)
 - (4) 刑事罰の導入(平成15年)とその後の法改正
3. 技術的営業秘密の法的保護の困難性
4. 営業秘密の侵害訴訟における立証の工夫
5. 著作権によって技術的営業秘密を保護できるか
6. 秘密保持契約書作成のチェックポイント
7. 特許出願とノウハウ管理の使い分け
8. ノウハウ管理のための文書作成
9. 職務発明規程におけるノウハウの取扱い方
10. まとめ

最新のセミナー情報がご覧になれます
<http://www.chosakai.or.jp/seminar/seminar-annai.htm>

経済産業調査会 セミナー

検索



最新のセミナー情報等を発信しています。是非、フォロー&リツイートお願いします。

「技術的営業秘密の法的保護に関する理論と実務」参加申込書 (H27.3.13開催)

ご所属名・部課名		電話
		FAX
ご住所 〒		
参加者		
お名前	E-mail	

お名前	E-mail	

お名前	E-mail	
備考欄		
申込先 FAX : 03-3535-4884		一般財団法人 経済産業調査会
E-mail : seminar@chosakai.or.jp		〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-9
		電話 03-3535-4881

お申込時にいただきました個人情報につきましては、本講座の実施、運営に利用させていただくとともに、新刊書やセミナー・講演会等の各種ご案内など当会の事業活動に限って使用させていただきます。また、本講座の講師にお客様の「所属先」、「部署名(役職名)」、「氏名」等をお知らせさせていただきます。本件に関し、不都合がございましたらご連絡ください。